

平成25年度 次世代育成支援事業報告書

新見市老人クラブ連合会 大佐地区老人クラブ連合会

① 地 域 の 概 況	<p>岡山県北西部に位置する新見市の東北部に位置する大佐地域（刑部小学校区）は東部を真庭市、北部を鳥取県日野町に接した農山村地域で、人口 2,580 人（930 世帯：高齢化率 39%：小学校 1 校 132 名、中学校 1 校 78 名：認定こども園 70 名）という少子高齢が進んでいる。</p> <p>地域の主な産業は、農林業、果樹園芸である。特にピオーネの栽培が盛んであるが農林業は機械化が進み若い働き手は、近隣の都市部への通勤が増えている。</p> <p>地域内の、公共交通機関は、JR 姫新線（刑部駅）とバス（市営・民間）であるがいずれも利用者は少ない。観光地の大佐山（988m）も以前と比べて観光客は、減少傾向にある。</p> <p>刑部小学校区内の老人クラブは、8 単位クラブ（300 名）あり各クラブともさまざまな活動をしているが、この度は、学区の中心部にある 4 単位クラブ（150 名）で連携し、次世代育成の支援活動を推進した。</p>
----------------------------	---

<p>② 活 動 状 況</p>	<p>年間を通じて、小学校、認定こども園、公民館、地域のボランティア団体等と連携を密にしなが、次世代を担う子どもたちの健全な育成のため、地域全体でさまざまな交流を通して、ふれあいを深めている。</p> <p>○小学校との交流</p> <p>1 農業体験（昔ながらの稲刈り）</p> <p>（1）苗植え付け</p> <p>日 時 平成25年5月25日（水） 9：00～11：00</p> <p>場 所 学校の田（4a）</p> <p>参加者 5・6年生（36名・先生4名）クラブ員8名、地域ボラ4名</p> <p>当日は、クラブ代表が苗の植え方について説明し、2枚の田に5年生・6年生とに分かれて田に入った。子どもたちは、泥水の感触に叫び声を上げたり転びそうになったりしながら、綱の目印に合わせて3～5株ずつ植え付けをした。田拵えは、前もってクラブ員が実施した。田植え後の管理は、学校とクラブ員で実施した。</p> <p>（2）稲刈り</p> <p>日 時 平成25年9月24日（火） 13：00～15：00</p> <p>参加者 5・6年生（36名・先生4名）クラブ員7名、地域ボラ4名</p> <p>当日は、クラブ代表が稲の刈り方について説明した。ノコ切り鎌で刈り束にした。子どもたちは「なかなか力があるなあー」といいながら元気に刈っていた。刈った後は、ハデにかけて天日干しにした。</p> <p>（3）餅つき</p> <p>日 時 平成25年12月8日（日） 9：00～11：30</p> <p>場 所 小学校と小学校横の広場</p> <p>参加者 5・6年生（36名・先生4名）クラブ員5名、地域ボラ5名 保護者多数（授業参観日）</p> <p>当日は、クラブ代表が餅のつき方について説明し、5・6年生が作ったモチ米を元気よく杵で餅つきをした。平餅にして、学区内の老人（80才以上）と学校ボランティアの方々に、先生と子どもたちで配布した。</p> <p>2 かしわ餅作り</p> <p>日 時 平成25年5月25日（水） 9：00～11：00</p> <p>場 所 学校家庭科室</p> <p>参加者 4年生（28名・先生3名）クラブ員6名、地域ボラ5名</p> <p>当日は、クラブ代表がかしわ餅作りについて説明し、クラブ員や地域ボランティアの方々の指導を受けながら懸命にかしわ餅作りをした。またクラブ員から昔からこの地方では田植えが無事終わったことを祝って食べるご馳走「代満（しろみ）て」</p>
----------------------------------	---

にかしわ餅を作り食べていた。というお話をきいた。その後田植えをした方々とみんなでかしわ餅を食べながら交流した。

3 さつまいもの栽培

(1) 苗の植え付け

日 時 平成25年5月31日(金) 10:45~12:00

場 所 学校の畑

参加者 1・2年生(43名・先生4名)クラブ員10名

当日は、クラブ代表が苗の植え方について簡単に説明し、1人1本の植え付け作業にかかった。植え付けする畝やマルチ掛けは、事前にクラブ員が準備しておいて、子どもたちは手で苗を植え付けた。

(2) いもほり

日 時 平成25年10月31日(木) 14:00~15:00

参加者 1・2年生(43名・先生4名)クラブ員10名

当日は、クラブ代表がいものほり方について簡単に説明し、子どもたちはいもにキズをつけないように丁寧にほっていた。特に今年は、大きいもが沢山とれ子どもたちは大喜びをしていた。

(3) いもパーティー

日 時 平成25年12月12日(木) 11:00~11:45

場 所 学校のホール

参加者 1・2年生(43名・先生5名)クラブ員10名

1・2年生がクラブ員10名(いも栽培に関わったクラブ員)を招待してくれた。子どもたちは、大学いもを作りいっしょに食べながら交流した。また1・2年生全員で歌をうたったり、楽器演奏を聴かせてくれた。

4 クリーン作戦

日 時 平成25年11月21日(木) 14:20~15:20

場 所 おおさ総合センター 広場(公園)

参加者 3年生(25名・先生2名)クラブ員12名

奉仕精神の向上と交流を目的に広場(公園)を清掃した。子どもたちはほうきで落ち葉を集めたり、草取りをするなど約1時間にわたり懸命に作業奉仕をし広場(公園)が見違えるほどきれいになった。

作業中いろいろな話が弾み有意義なひとときを過ごすことができた。

○大佐認定子ども園との交流

1 さつまいもの栽培

(1) 苗の植え付け

日 時 平成25年5月23日(木) 9:00~11:00

場 所 こども園の畑

参加者 園児(1才~5才)62名、保育士5名、クラブ員9名

当日は、クラブ代表が苗の植え方についてわかりやすく説明し、園児は小さい順に1組(年齢別に5組になっている。)ずつ畑に入りクラブ員と一緒に「大きないもができますように」とお願いしながら苗を1本1本ていねいに植え付けた。植え付けする畝やマルチ掛けは、事前にクラブ員が準備した。植え付け後の水やりなどは、園児と保育士さんが行った。

(2) いもほり

日 時 平成25年10月21日(月) 9:00~11:00

参加者 園児(1才~5才)62名、保育士5名、クラブ員9名

当日は、クラブ代表がいものほり方について説明し、園児たちは小さい順に1組ずつクラブ員の力を借りながら一生懸命にいもをほっていた。大きないもがほれると「重たい重たい」といって歓声をあげていた。

2 グラウンドゴルフ交流

日 時 平成25年10月5日(土) 9:00~11:00

場 所 こども園多目的ホール

参加者 園児(1才~5才)20名、保育士3名、保護者3名、クラブ員5名

当日は、クラブ代表がグラウンドゴルフのルールについて説明し、5組に分かれてゲームを楽しんだ。園児たちは、なかなか思うように球が飛ばないので苦労しながらホールに向かって打っていた。

○放課後子ども教室(公民館)との交流

1 料理づくり

日 時 平成25年11月10日(日) 9:00~12:30

場 所 おおさ総合センター調理室

参加者 児童(1年生~4年生)15名、栄養委員7名、クラブ員10名

当日は、栄養委員から、今日は災害時等に簡単にできる非常食を調理するとの説明があり栄養委員の指導により、クラブ員が手伝いながら子どもたちが調理した。メニューは、①ニラ入りだんごお焼き②干し野菜の酢の物③サバ水煮缶詰の炊き込みごはん④だんご汁の4品をワイワイいいながら楽しくつくり参加者全員で試食した。おかわりをする者もあり、子どもたちは満足の一時であったと思う。

2 スリッパボーリング交流

日 時 平成25年11月10日(日) 13:00~15:00

場 所 おおさ総合センター大ホール

参加者 児童（1年生～4年生）15名、クラブ員10名
料理づくりに続き、スリッパボーリングを行い子どもたちと交流を深めた。
（スリッパボーリングとは、ペットボトルを何本か並べ、それに向かってスリッパを足で飛ばして、何本倒せるかを競うゲーム）
子どもたちを3組に分け各組にペットボトルを10本並べ、5メートル離れたところからスリッパを足で飛ばし倒した本数を競い合った。
ペットボトルなどの準備は、クラブ員が事前に行った。

3 しめ縄飾づくり

日時 平成25年12月15日（日） 9:00～11:30

場所 おおさ総合センター研修室

参加者 子ども7名、保護者4名、クラブ員13名

当日は、クラブ員代表がつくり方を説明し、子どもたちの手を取りながら一緒にしめ縄飾りを作った。子どもたちは年々上手になり立派なしめ縄飾りを作っていた。一方悪戦苦闘している子どももいた。何事にも挑戦するという勇気を持ってほしい。

藁は、クラブ員が事前に準備した。

○児童登・下校時の見守り

年間を通して、子どもたちが安全・安心して登・下校できるようクラブ員20名が交通安全、災害予防のため見守りを行っている。大佐地区は通学路に歩道はなく非常に危険な状況の中を通学している。子どもたちは大きな声で「おはようございます。」「帰りました。」と元気にあいさつをしてくれる。最近は、「気をつけてお帰り。」と声をかけると「ありがとうございます。」という立派なあいさつができるようになった。子どもたちは確実に成長していることを感じ、われわれも元気をもらっている。

なお、本事業で交通安全パトロール用（見守り）のイベントブルゾン（黄色）を20着作成させていただき見守り時に着用し士気を高めている。

子どもたちも安心して話しかけてくれている。

○「子育て講演会」の開催

日時 平成25年12月5日（木） 10:00～11:30

場所 おおさ総合センター研修室

参加者 クラブ員、高齢者32名

テーマ 「地域の中でいきいき子育て」

～今求められる地域での子育て支援～

講師 新見公立短期大学 幼児教育学科

助教 三好年江氏

まず三好先生から、子育てを取り巻く環境の変化について、

	<p>昔は、・祖父母との同居⇒ 祖父母や親戚が日常的に子育てを行う ・近所づきあいがある⇒ 隣近所で助け合って子育てを行う</p> <p>今は、・核家族⇒ 子育てに日常的な祖父母の助けがない ・近所づきあいの希薄化⇒ 隣近所で子どもを見守り助け合う関係性が築かれていない</p> <p>との話があった。</p> <p>これを受けて、①子育て支援を考えるために必要なこと（・親についての理解・子どもについての理解・地域についての理解）②今求められる子育て支援についての講話があり、まとめとして、地域において親および家庭を支え、子どもを見守ったり子どもの育ちに重要な役割を果たしたりするのは、人生経験の豊かな高齢者である。ということであった。高齢者として子育て支援の重要性を再認識したところである。本当に有意義な講演会であった。</p>
--	--

<p>③ 活動の 効果</p>	<p>・昔ながらの田植え・稲刈りを体験することにより、お爺ちゃんお婆ちゃんの時は、米作りは大変な作業であったことがよくわかり、この作業は1人ではむつかしく、皆で力を合わせ協力することが大切であることを学んだと思う。</p> <p>・かしわ餅づくりについて、田植えが終わった後、代満て（しろみて）のご馳走として昔からつくっていたとの話を聞き、今日（田植え）つくる意味が理解できたと思う。この話は一生忘れることはないであろう。</p> <p>・一緒に料理をつくり試食したり、クリーン作戦として公共広場の掃除、グラウンドゴルフ・スリッパボーリングなどの交流を通して、子どもたちは自立心や協調性、大人に対する尊敬心、目標に対する計画性を養うことができたのではないかと自負している。</p> <p>・児童の登・下校の見守りをしていると、子どもたちは大きな声で「おはようござ</p>
-------------------------	---

	<p>います。」「帰りました。」と元気よくあいさつをしてくれる。こちらも「気をつけて。」と言葉をかけている。子どもたちは時には「ありがとうございます。」と言ってくれる。子どもたちは、確実に成長し感謝の心をもつようになった。上級生の指示に従い整然と登下校ができていることは言うに及ばない。</p> <p>・テーマ「地域の中でいきいき子育て」～今求められる地域での子育て支援～の子育て講演会を開催した。講師は、子どもを育てる環境は、昔と今では大きく異なってきた。核家族が進み祖父母の子育て支援ができなくなっている。親は一生懸命に子育てをしているが限度がある。地域で子育て支援をすることが大切だ。地域の高齢者（老人クラブ）の役割がここにあり、子どもたちの健全な育成のため皆さんの力を発揮してほしいとのお話があり、我々も子育て支援の重要性を再認識したところである。</p>
<p>④ 課題 ・ 問題点</p>	<p>・老人クラブに若い人が入会しないので、クラブ員の高齢化が進み、さまざまな活動に参加する者が減少している。</p> <p>・老人クラブで交流事業を計画して実施したいが、学校行事等に合わせないと児童が集まらない。</p> <p>・三世代交流を実施したいが、二世帯（子どもの親）との連携が上手く取れない。</p> <p>・子どもたちと地域の名所・旧跡巡りを実施したいが、バス借り上げなどの経費がない。</p>
<p>⑤ 今後の進め方</p>	<p>・子どもたちが、健全に成長してくれることを願い、今後とも老人クラブとして創意工夫をしながら可能な限り子育て支援を継続していきたい。</p> <p>・地域に残る伝統文化・行事・伝説を大切にして、次世代に伝えるべくあらゆる機会をとおして世代間交流を進めたい。</p> <p>・各機関との連携を密にして、安心で安全な地域をつくり子どもたちが伸び伸びと成長できる社会をつくりたい。</p>